令和８年度第１回印西市文化ホール運営会議　会議録

１．開催日時　　令和８年７月２２日（水）　１３時３０分から１５時１０分まで

２．開催場所　　印西市文化ホール　２階　大会議室

３．出席委員　　宮川佳久委員、伊藤敦子委員、岩井義春委員、髙橋きよ子委員、荻原孝恵委員、
小野真理子委員、鈴木累意委員、宮野航委員、内田卓男委員

４．欠席委員　　０名

５．事 務 局　　文化振興課：飯島課長、菅谷係長、島戸主任主事
株式会社ケイミックスパブリックビジネス
文化ホール指定管理者：田村支店長、初芝館長、髙橋事業課長

６．傍 聴 人　　０名(定員５名)

７．資　　料　　・会議次第
・令和７年度印西市文化ホール自主文化事業実績一覧
・令和７年度ロビーコンサート・市民作品展示実施状況
・令和８年度印西市文化ホール自主文化事業計画書
・アウトリーチ事業小・中学校訪問一覧
・令和８（2026）年度自主文化事業チラシ一覧
・（仮称）印西市生涯学習ビジョン策定基本方針
・指定管理者について

８．会議次第　　議　事
（１）令和７年度事業報告について
（２）令和８年度事業計画について
（３）その他
その他

９．会 議 録

事務局	令和８年度第１回印西市文化ホール運営会議を開会いたします。 本日の出席委員は９名です。ここに会議が成立していることを報告いたします。 続きまして、次第２の座長・副座長の選出に入ります。 印西市文化ホール運営会議に関する要綱第３条第１項の規定により、会議の座長及び副座長は委員の互選により定めるとなっています。どなたか立候補される方はいますか。
委　員	立候補がないようでしたら、事務局一任でいかがですか。
事務局	それでは「事務局に一任」との声をいただきましたので、事務局より推薦させていただきます。事務局の案としまして、座長に鈴木累意委員、副座長に岩井義春委員を推薦いたします。皆様いかがですか。
委　員	＜一同、同意＞
事務局	ありがとうございます。 それでは、座長に鈴木委員、副座長に岩井委員が選出されましたので、よろしくお願いします。 それでは、新たに就任いただく座長、副座長を代表いたしまして、座長の鈴木委員よりご挨拶をいただきたいと思います。
座　長	改めまして、こんにちは。鈴木と申します。ただいまご推挙いただき、文化ホール運営会議の座長をお受けしましたので、どうぞよろしくお願いいたします。なかなか不慣れなもので、いろいろご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご協力のほどよろしくお願いします。 文化ホールは、印西市の文化芸術の拠点施設です。ここまで大きいホールは印西市の中でもここだけかと思います。ここが拠点となりますので、皆さんの活発なご意見の中から、文化振興に関わる素晴らしいアイデアが生まれ、発展につながっていけば素敵だなと思っております。 皆さん、遠慮なく、お互い同じ目的の仲間だと思って、率直なご意見をお願いできればと思います。それでは改めまして、よろしくお願いします。
事務局	ありがとうございました。それでは、運営会議の議事に移らせていただきます。運営会議の議長につきましては、印西市文化ホール運営会議に関する要綱第４条第１項の規定により、鈴木座長にお願いいたします。それでは座長、よろしくお願いいたします。
議　長	それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。会議中に発言する場合は、挙手の上、指名を受けてからご発言くださいますようお願いいたします。円滑な議事進行にご協力をよろしくお願いします。

	また、本日の会議録を作成するにあたり、会議録署名委員の指名についてですが、宮川佳久委員にお願いしたいと思いますが皆様よろしいですか。
委　員	異議なし
議　長	それでは、宮川佳久委員、よろしくお願いします。 これより、次第 5、議事に入ります。（1）令和 7 年度事業報告について、事務局の説明を求めます。よろしくお願いいたします。
事務局	事業報告の前ではございますが、現在、管理運営を行っている、指定管理についてご説明をさせていただきます。 **＜説明：指定管理者について＞** それでは、「令和 7 年度事業報告について」を指定管理者より説明いたします。
事務局 （指定管理者）	**＜説明：令和 7 年度事業報告について＞**
議　長	ただいまの説明について、ご質問、ご意見等のある方はいらっしゃいますか。
委　員	障がい者割引のある事業が何点かありますが、なぜすべての事業に設定しないのでしょうか。
事務局 （指定管理者）	ありがとうございます。基本的には障がい者割引を設定する形で事業を行っております。ただし、フライデーナイトコンサートのように、一般料金が 1,000 円程度と、もともと安価な設定の事業については、特に割引を設けず実施しております。
議　長	ありがとうございます。他にご意見、ご質問等ありますか。
委　員	19 番のアーティスト・アーカイブスですが、実績一覧には詳細が入っていないので、内容を教えていただけますか。
事務局 （指定管理者）	ありがとうございます。19 番のアーティスト・アーカイブスは、特定の日に実施する公演や講座ではなく、通年で行っている事業です。ホームページ上で地元アーティストの情報を公開し、市民の方に「こういった方がいらっしゃいます」ということを紹介するものです。また、市民の方がその情報を見て、出演依頼や応援につなげられるような機会の提供も目的としております。
事務局	少し補足させていただきます。市では、文化芸術の振興を進めておりますが、その課題の一つに、伝統文化の担い手育成と未来への継承があります。印西市は人口

	約 11 万人のうち、およそ 1 割、1 万人ほどが小中学生で、他市と比べると多いのですが、それでも日本古来の伝統文化や文化財の担い手不足により、中止となってしまったものもあります。そのような中で、指定管理者の方では、今の子どもたちに身近に伝統文化に触れてもらう企画などを実施していただいています。例えば、7 番・8 番では印西市ゆかりのアーティストの活躍の場を提供していただいていますし、13 番の「小中学校アウトリーチ」では、学校に出向いてクラシック音楽などに触れていただいています。また、16 番の「こどもパフォーマー倶楽部」や、21 番の「わくわくアート倶楽部」では、日本舞踊などの体験の場を提供していただいております。こうした体験が、将来の印西を担う子どもたちにとって、音楽や文化に関わるきっかけや趣味、あるいは仕事へとつながる可能性もあります。補足説明は以上です。
委　員	ありがとうございます。今のご説明にもあったように、「ゆかりのアーティストコンサート」は、これからの世代の一助になる事業だと思います。ただ、その意味では「達成率 41%」は少し少ない印象もあります。もう少し PR の工夫ができるのではないかと思いますが、現在はどのような形で広報されているのでしょうか。
事務局 （指定管理者）	令和 7 年度までの過去 3 年間については、主に音大生や、卒業して演奏活動を始めたばかりの若い方々に出演していただいておりました。そのため、若手支援という意味合いが強く、入場者数には少し影響があったかもしれません。今年度からは若い方に限定せず、印西市出身の方や、印西市で活躍されている方にも広く出演いただき、地元で活躍している方々を市民の皆様に知っていただけるような形にしていきたいと考えています。広報については、ホームページでの情報発信やチラシの配布など、一般的な広報を行っておりましたが、今後さらに工夫してまいります。
委　員	ゆかりのアーティストコンサートに出演させていただいたのですが、チラシは文化ホールの方で作ってくださいましたが、宣伝については出演者側が主体的に行っていた印象です。親御さん、お友達、親族、合唱サークルの関係者などに出演者側で声をかけていたので、この 41%という数字は、出演者だけの努力ではなかなか難しい面もあったと思います。
事務局 （指定管理者）	ありがとうございます。過去 3 年間を振り返っても、ゆかりのアーティストコンサートの達成率は、おおむね 40～50%程度で推移しています。やはり出演者が「これから」という方々であることが多く、全く知らない方がその名前だけで来場するのは難しい面がありました。私たちとしても、そのあたりは今後の課題と捉えており、今後は広報の方法を工夫していきたいと思っています。
議　長	ありがとうございます。他に、ご意見、ご質問等ございますか。
委　員	クラシック関係でいうと、クラシック・ガラいんざい、ゆかりのアーティストコンサート、フライデーナイトコンサートなど、印西音楽協会にかなり協力していた

	だいている部分があると思います。アウトリーチ事業に関しても、出演者の方はある程度ボランティアに近いような形でご協力いただいている面もあるのではないでしょうか。地元の方や、ゆかりのある方を中心に出演していただくことは、印西市の音楽文化の振興にもつながりますし、新人育成にもなっていると思います。ゆかりのアーティストコンサートの達成率が低くても、継続していただければ、新しい方々の道を開くという意味でも意義があると思います。一方で、予算面で今後どう継続していくのかという点は少し気になっています。
事務局	令和 4 年度までは市の直営で実施しておりましたが、その当時は年間 10 事業程度、自主文化事業の年間入場者数は 4,000 人ほどでした。現在は年間 25 事業、入場者数も 1 万人を超える状況です。自主文化事業に関わる経費や人件費、光熱費、舞台・照明なども含めて指定管理料の中で運営しております。単純に高い・低いということではなく、指定管理者のノウハウを活用することで、事業の充実が図られていると認識しております。今後も充実した事業展開をお願いしたいと思っております。また、達成率が 40%台の事業もありますが、他には 90%台や 100%近い事業もあり、全体としては高い達成率を上げていただいていると評価しております。
議　長	ありがとうございます。他に、ご意見、ご質問等ございますか。
委　員	資料を拝見して、地元の方を応援する趣旨はよく理解できました。ただ、市民のためということであれば、もっと大物の出演者を呼ぶことは考えられないのでしょうか。見てみると、私が知っているのは石川さゆりさんくらいでしたので、メジャー級の方を年に何回か呼んだら、市民も喜ぶのではないかと思います。
事務局 （指定管理者）	ご意見ありがとうございます。昨年度については、石川さゆりさんのほか、Cocomi さん、また落語公演では桂宮治さんなど、著名な方の公演を実施しております。過去 3 年間では、森山良子さんや神田伯山さんの公演も実施してまいりました。ただ、著名な方を年に何本も呼ぶとなると、費用面も大きくなりますので、全体のバランスを見ながら事業を組んでおります。それでも、年に 1 本か 2 本は、誰もが名前を見て分かるような公演を実施するよう心がけております。
議　長	他に、ご意見やご質問等ございますか。 それでは、ご意見等もございませんので、議題の（1）「令和 7 年度事業報告について」は、ご了承いただくことでよろしいでしょうか。
委　員	＜一同、異議なし＞
議　長	それでは次に、令和 8 年度事業計画について、説明をお願いいたします。
事務局 （指定管理者）	**＜説明：令和 8 年度事業計画について＞**

議　長	ありがとうございます。令和 8 年度事業計画について、ご意見やご質問のある方はいらっしゃいますか。
委　員	先ほども申し上げましたが、令和 8 年度はメジャーな大物タレントさんが見当たらないように思いました。その点を確認したいです。それからもう 1 点、無料事業は素晴らしいのですが、無料だけではなく、チャリティという発想はないのでしょうか。何らかの寄付につながる形も考えられるのではと思います。
事務局 （指定管理者）	ありがとうございます。著名なアーティストについては、1番のプレミアムライブで調整しております。現時点ではまだ公表できない段階ですので、発表できる時期になりましたら改めてお知らせしたいと思います。また、チャリティについては現時点で具体的な計画はございませんでしたが、ご意見として参考にさせていただき、どのような形が可能か検討してまいります。
議　長	ありがとうございます。ほかにご意見等ありますか。
委　員	近年、大型台風や地震が増えていますが、ホールで公演中に大きな地震などが起きた場合、どのように対応されるのでしょうか。
事務局 （指定管理者）	ありがとうございます。過去 3 年間では、公演本番中に大きな災害が発生したことはありませんでしたが、いつ起きてもおかしくない時代ですので、それを前提に、年 2 回、職員を対象とした災害想定訓練を実施しております。消防署の指導のもと、火災や地震を想定した避難誘導訓練を行っています。また、文化ホールのスタッフは常勤・非常勤を問わず、上級救命講習を受講しており、全員が AED を扱える体制にしております。 過去に一度だけ、公演を中止したことがあります。令和 6 年 8 月のフライデーナイトコンサートの日に台風上陸の情報があり、JR 成田線が計画運休を行うことになりました。来場者の安全を第一に考え、文化ホール、出演者側、本社の 3 者で協議し、公演延期を決定しました。チケット購入者全員にお電話し、来られない方には払い戻し対応を行いました。 また、以前からご意見をいただいておりますが、お客様にも参加していただく避難訓練コンサートのようなものは、5 年間の中で 1 回は実施したいと考えております。
議　長	ありがとうございます。実際にお客様を入れた避難訓練は、参加された方の実践にもなりますし、ホールにとっても訓練になりますので、ぜひ検討いただければと思います。その他、ご意見等ありますか。
委　員	この 28 事業を実施するのは大変なことだと思います。その中で、新たに「どこでもアウトリーチ」が加わったことはとても良いことだと思います。千葉県文化会館

	でもアウトリーチにはすごく力を入れており、文化会館の役割は、会館に来ていただくことだけでなく、あらゆる方々に文化芸術に触れてもらう機会を創出することだと思います。無料で行う事業は予算面で大変な部分もありますので、企業協賛という視点も今後考えていただければと思います。また、若手音楽家のコンサートについても、せっかく地元の方に舞台に立っていただくなら、より多くのお客様の前で演奏していただくことが望ましいと思います。また、当館では企業協賛によって若い音楽家のコンサートを無料で継続している例もありますので、そういった考え方も一つあるのではないでしょうか。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。印西市には大型商業施設や物流企業、グローバル企業、データセンター等、さまざまな企業がございますので、協賛という観点については持ち帰って検討させていただきたいと思います。
議　長	その他にご意見等ありますか。
委　員	アウトリーチ事業については、学校としても大変ありがたく、今年も楽しみにしております。アーティストの方も一生懸命やってくださり、子どもたちも非常に熱心に観ています。とても良い取組だと思っております。その中で、地域文化の継承というお話がありました。印西市内にも、地域文化を継承している団体がいくつかあります。今後、学校区に合わせて、そうした保存会の方々にも入っていただき、呼んでいただいたアーティストとのコラボの時間を設けるなど、地域文化の紹介につながる形があっても良いのではないかと思いました。
事務局	ありがとうございます。地域の方々や伝統文化、地域資源に触れていただく機会づくりにもつながると思いますので、庁内の関係部署と情報共有させていただきたいと思います。
議　長	ありがとうございます。他にご意見等ありますか。
委　員	ホームページについてですが、公式 LINE のような、一方的に情報が届く仕組みがあると、市民の目にも留まりやすいのではないでしょうか。また、YouTube なども、若い方には効果があるのではと思います。
事務局 （指定管理者）	ありがとうございます。LINE については、他館で導入している事例もありますので、情報収集をして、取り入れる準備を検討したいと思います。YouTube については、昨年から始めたところです。まだこれからではありますが、進めております。また、一度でもチケットを購入していただいた方にはメールアドレスをご登録いただき、メールマガジンという形で情報配信を行っています。ただ、まだチケットを買ったことのない方に情報を届けるという意味では、LINE なども有効だと思いますので、検討してまいります。

議　長	ありがとうございます。他にご意見等ありますか。
事務局	28 番の「文化ホールまるごとフェスティバル」について、もう少しご説明させていただきたいと思います。こちらは以前、荻原委員からいただいたご意見を参考にさせていただいたものです。その際、荻原委員から、「文化ホールでお祭りのようなものをやったらどうか」というお話があり、いろいろと構想を重ね、指定管理者に企画していただき、今回初めて新規事業として実現したものです。資料 5 のチラシのまとまりの中の 6 枚目ほどのところにございますが、そちらに内容を記載しております。さまざまなイベントを予定しており、その中では鈴木委員にもご協力いただき、印西ウインドアンサンブルの皆様にもご参加いただく内容となっております。 先ほど、文化ホール事業の分野がこれまでの 4 分野から 5 分野になったというお話がありましたが、その新たな分野が「交流」です。現在、公共施設のあり方そのものが問われていると思っております。公共施設は、市民の方々の居場所であり、交流の場であり、文化をつなぐ場所であり、人と人とをつなぐ場所でもあると考えております。そのような考え方のもと、今回初めて指定管理者に企画していただいたものです。今週土曜日の開催となりますが、楽しいイベントになると思っておりますので、皆様、よろしければぜひご覧いただければと思います。以上でございます。
議　長	その他、ご意見はございますでしょうか。それでは、令和 8 年度事業計画についての議題は以上といたしますが、ご了承いただくことでよろしいでしょうか。
委　員	＜一同、異議なし＞
議　長	次に、議題 3「その他」に移ります。事務局から何かございますか。
事務局	特にございません。
議　長	それでは、委員の皆様の中で議題にしたいことはございますでしょうか。
委　員	特にございません。
議　長	ないようですので、以上をもちまして本日の議事はすべて終了いたしました。 皆様のご協力に感謝いたします。議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。
事務局	座長には議事進行をお務めいただき、大変ありがとうございました。また、委員の皆様からも貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 それでは最後に、事務局より 1 点ご連絡をさせていただきます。本日お配りしま

した資料 6「(仮称) 印西市生涯学習ビジョン策定基本方針」についてご説明させていただきます。

はじめに、今回策定するこの基本方針の位置づけについてです。本市では、今後の文化芸術を含めた生涯学習施策の方向性を示すために、「(仮称) 印西市生涯学習ビジョン」を令和 9 年度までに策定する予定で、現在進めております。この基本方針は、ビジョンそのものの内容を決定するものではなく、なぜビジョンを策定するのか、どのような体制や方法で検討していくのか、いつまでに作成するのかといった、今後の策定作業の基本的な進め方を定めるものでございます。

1ページ目をご覧ください。策定の趣旨ですが、本ビジョンは、社会環境や市民ニーズが変化する中、市民一人ひとりの学びを生活や地域の中で生かすことができる、生涯学習社会の実現を目指して策定するものです。本市には印西市教育ビジョンがございますが、こちらは主に学校教育を中心とした内容でございます。このため、全世代の学びや、公民館、文化ホール、図書館、文化芸術関連、文化財なども含めて、教育ビジョンを補完する形で体系的に整理する必要があることを記載しております。

続いて 2 ページ目です。計画期間ですが、印西市総合計画及び教育ビジョンとの整合を図るため、令和 10 年度から令和 12 年度までの 3 年間を予定しております。

続いて 3 ページ目です。上位計画及び関連計画との関係については、国及び千葉県の教育振興基本計画を参酌するとともに、印西市総合計画及び教育ビジョンとの整合・連携を図っていきたいと考えております。また、本ビジョンでは基本的な方針や目標を定め、具体的な取組は毎年度の実施計画や教育施策に位置づけ、推進・評価をしていく形になります。策定にあたっては、教育委員会と市長部局で構成する庁内ワーキンググループにおいて、既存事業の成果や課題を整理し、検討すべき論点を明確にしていきます。その上で、有識者による講演や先進地視察、市民アンケート、ワークショップ、関係団体等へのヒアリングなどを通じて検証を行っていきたいと考えております。また、有識者や関係者の意見を踏まえながら、総合教育会議においても議論を進めてまいります。今後、策定の進捗については随時、文化ホール運営会議や他の審議会等でもご意見をいただきながら進めていきたいと考えております。

続いて 4 ページ目です。策定スケジュールですが、令和 8 年度は議論等を行い、令和 9 年度も同様に仮説検証を進めつつ、結果を踏まえて素案を作成し、教育委員会、市議会、文化ホール運営会議の皆様にご報告したいと考えております。その後、パブリックコメント等を経て計画案を取りまとめ、年度末に決定・公表する予定でございます。なお、スケジュールは現時点での案でございますので、状況によって修正される場合がございます。

簡単ではございますが、令和 8 年度と 9 年度にかけて、(仮称) 生涯学習ビジョンにおいて、文化芸術関連を含め策定していくということを、皆様にお伝えさせていただきました。説明は以上です。

委員の皆様より、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

委　員	特にございません。
事務局	特にないようでございますので、本日の予定はすべて終了となります。 以上をもちまして、令和 8 年度第 1 回印西市文化ホール運営会議を閉会とさせていただきます。なお、次回の会議は令和 9 年 3 月頃を予定しております。日程につきましては、改めて確認をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございました。

令和８年度第１回印西市文化ホール運営会議の会議録については、事実と相違ないことを認め、当運営会議はこれを承認する。

令和８年　９月　４日

印西市文化ホール運営会議
会議録署名委員　宮川佳久